

滋賀県議会だより

会派別議員数

自由民主党・湖翔クラブ	19人
民主党・県民ネットワーク	16人
対話の会・びわこねっと	5人
日本共産党滋賀県議会議員団	3人
公明党	2人
湖政会	2人
定数	47人
現員	47人
(平成19年12月21日現在)	

No.44

編集・発行／滋賀県議会 〒520-8577 大津市京町4-1-1 TEL 077-524-1121(代)



朽木の冬景色 (高島市)

臨時会・定例会の概要

滋賀県議会は、11月臨時会を11月19、20日の2日間の会期で、12月定例会を12月3日から21日までの19日間の会期で開きました。

11月臨時会では、滋賀県基本構想の策定状況について6人の議員が登壇し、質疑を行いました。また、知事提出議案1件が上程され、可決しました。

12月定例会では、「平成20年度から平成22年度までにおける滋賀県議会議員の報酬の特例に関する条例案」をはじめとする議員提出議案7件と「平成19年度滋賀県一般会計補正予算(第4号)」をはじめとする知事提出議案35件が上程されました。これらの審議を行った結果、いずれも原案のとおり可決または同意したほか、9月定例会で継続審査とされていた「平成18年度滋賀県一般会計および各特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて」ほか3件を認定しました。

また、本会議における代表質問、一般質問、および討論には、延べ32人の議員が登壇し、県政全般にわたって論議を展開しました。

さらに、各委員会においては、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。

議会トピックス

●滋賀県基本構想案を可決

12月定例会では、県政の最上位計画として、滋賀県中期計画に代わる県政運営の基本方針となる滋賀県基本構想案を可決しました。

●行財政改革の推進に関する決議を議決

新しい行政改革の方針原案や新たな財政構造改革プログラムに係る事務事業の見直し案について、県民生活に密接な関係を有し、市町財政に大きな影響を及ぼすものが数多く含まれることから、県民や市町、関係団体の意見や要望を最大限反映することを求める決議を議決しました。

●議会選出監査委員を削減

監査委員について、識見を有する者から選出する委員を増やすため、議員のうちから選任される委員を2名から1名に削減する条例案が議員から提出され、これを可決しました。

●県議会議員の報酬、期末手当を削減

平成20年度からの3年間、議長、副議長および議員の報酬月額を、それぞれ10%、9%および7%減じ、期末手当の特別加算率を10%削減する「平成20年度から平成22年度までにおける滋賀県議会議員の報酬の特例に関する条例案」が議員提出され、これを可決しました。このことによる削減額は、平成20年度で、約4千万円になります。

●議会改革検討委員会を設置

費用弁償や政務調査費など議会改革に関する諸課題について検討するため、8名の議員で構成する滋賀県議会改革検討委員会を設置しました。